

令和2年度 第1回学校評議員会 評議員による質疑・提言(抜粋)

- ・期 日 令和2年6月12日(金) 14:30~16:00
- ・場 所 前沢明峰支援学校 多目的ホール
- ・参加者 学校評議員4名 本校職員14名

(1) 質疑・提言

A評議員

質問：重度の児童生徒や、服薬している児童生徒も多くいる中で、良く指導されていると感心している。前籍の学校で不登校傾向だった生徒を見かけた。実習のことを楽しそうに話していた。毎日登校していることにも驚いている。指導のたまものだと感じている。新しい指導法など、どのような研修をしているのか。組織的な取り組みがあるのか？

回答：今年度は、職員による「専門性向上研修会」を年8回として計画している。内容として、保護者対応の仕方、重度の児童生徒への対応、LDへの対応などを予定している。また、いろいろな障害種の学校の経験や得意な分野を生かしての研修や指導を通して、職員全体の専門性を広げていく工夫をしている。

B評議員

質問：経営改革の中の人権尊重について、教育委員会、学校レベルでの研修はどんなことをやっているのか。

回答：コンプライアンス研修を行ったり、職員会議で県からの文書を出し話題にあげたりして、認識を高める取り組みをしている。

C評議員

質問：一般就労を希望する方は多いのか。

回答：2年生の年度末に希望調査を取り、希望する職種で実習先を決めていく。希望する職種に求人がない場合は、本人・保護者と相談して職種の変更をしていくことが多い。今年3年生は15名のうち、4名が一般就労を希望、両磐出身の方もいて、例年より少ない。2年生が29名で、半数が一般就労を希望しているので、早めに対応をしていこうと考えている。

提言：実習でも真面目に仕事をこなしてくれるので、来てほしいと思うところはあるが、ハローワークへの求人募集とのタイミングが合わなかったりする。一般の求人とは別に、障がい者の求人に関わる情報交換があったりしてもいいのではと思うが。

回答：9月~10月に、地区ごとに障がい者の求人の情報交換会があり、そこで、簡単な面談をして情報交換している。2年生のうちから実習をして就職につなげた例もある。3年生は長期休暇中だけでなく随時実習も可能、直接連絡いただいてもいい。

(2) 協議・助言

○学校評議員のみなさまからご助言いただきたい事項

学校運営協議会の設置は令和4年度に義務化となる見込みで、学校と地域が一体となった学校づくりの取り組みを進めることが求められている。地域との交流が、点から面に広げていくことはできないかと考えている。さらに一体となり進めていくためにはどんなことがあるか助言していただきたい。

B評議員

質問：コミュニティスクールはどの程度進んでいるか。コミュニティとはどの範囲を考えているか。

回答：全国的には支援学校でも進んでいるが、県内では高田高校、西和賀高校の2校だ。地域としては前沢、学校評議委員会を拡大化し、令和4年度から移行できるといいと考えている。

助言：福祉関係の事業所とのつながりが強くなりがちだが、いろいろな分野の方が入るといいと思う。まずは、知ってもらうことが大切だと思う。

A評議員

助言：奥州市は絵本の読み聞かせのボランティアが盛んだ。メイプル地下にはその組織もある。声を掛ければ対応してくれる。学校に来てもらい知ってもらうことで、更に広げていくことができると思う。

D評議員

助言：いわての復興教育スクールの指定校になっているとのことだが、何かやる時にはぜひ教えて欲しい。地域として協力できることがあると思う。